

6 文科初第 2235 号
職発 0220 第 14 号
開発 0220 第 4 号
令和 7 年 2 月 20 日

主要経済団体代表者 殿

文部科学省初等中等教育局長
望 月 禎
厚生労働省職業安定局長
山 田 雅 彦
厚生労働省人材開発統括官
堀 井 奈 津 子

新規高等学校卒業者及び新規中学校卒業者の採用選考に係る
応募書類の様式の一部改定について

新規学校卒業者の就職については、種々御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記応募書類につきましては、応募者の適性・能力に基づく公正な採用選考が行われるよう、新規高等学校卒業者については、文部科学省、厚生労働省及び全国高等学校長協会の協議により「全国高等学校統一用紙」を、また、新規中学校卒業者については、文部科学省及び厚生労働省の協議により「職業相談票(乙)」をそれぞれ定め、事業主をはじめとする関係者の方々に、趣旨の御理解とこれら応募書類の使用について御協力をお願いしてきたところですが、今般、別紙 1 及び別紙 2 のとおり、その一部を改定し、令和 8 年 3 月の新規高等学校卒業者及び新規中学校卒業者から適用することとしたところです。

つきましては、貴団体におかれましても、下記の事項に御留意の上、適正な応募書類の使用の遵守について、会員事業所への周知徹底を図られるよう格別の御配慮をお願い申し上げます。

記

第 1 新規高等学校卒業者用応募書類「全国高等学校統一用紙」

全国高等学校統一用紙の改定に当たっては、応募者の適性と能力に基づく公正な採用選考を確保するという様式制定の趣旨を念頭に厚生労働省履歴書様式例を踏まえた見直しや、選考と直接関係のない個人情報等に配慮した見直し等を行った。具体的には、次の事項について改定を行ったところ。

1 「履歴書」に係る改定事項

- (1) 「性別」欄を削除したこと

- (2) 「学歴・職歴」欄を「在籍校」欄と「職歴」欄に分離し、「在籍校」欄には、卒業見込み・卒業の高等学校を記載することとしたこと
 - (3) 「資格等」欄に野線を追記したこと
 - (4) 「趣味・特技」欄を削除したこと
 - (5) 「志望の動機」欄を「志望の動機・アピールポイント等」欄としたこと
- 2 「調査書」に係る改定事項
- (1) 「総合的な学習の時間」欄を「総合的な研究（学習）の時間」欄としたこと
 - (2) 「本人の長所 推薦事由等」欄を「本人のアピールポイント 推薦事由等」欄としたこと
 - (3) 「身体状況」欄を削除したこと
 - (4) 「特記事項」欄を追加したこと
 - (5) 「押印」を不要としたこと

第2 新規中学校卒業生用応募書類「職業相談票(乙)」

応募者の適性と能力に基づく公正な採用選考を確保するという様式制定の趣旨を踏まえつつ、「全国高等学校統一用紙」の改定に準じて、次の事項について改定を行ったところ。

- (1) 「現住所」欄にふりがなを追加したこと
- (2) 「特記事項」欄を追加したこと
- (3) 「10 趣味・特技」欄を削除したこと
- (4) 「10 特別の教科 道徳」欄を追加したこと
- (5) 「11 身体状況」欄を削除したこと
- (6) 「13 本人の長所・推薦事由等」欄を「12 本人のアピールポイント・推薦事由等」欄としたこと
- (7) 「押印」を不要としたこと

全国高等学校統一用紙主な変更点（履歴書）

別紙1

○新たな統一用紙（履歴書）

履歴書

令和 年 月 日現在

写真をはる位置
(30×40mm)

ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(満 歳)
ふりがな	〒
現住所	
ふりがな	〒
連絡先	

「在籍校」欄と「職歴」欄に分離

在籍校	令和 年 月	高等学校卒業見込み
		高等学校卒業
職歴 ※	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	

(※の欄については、記入上の注意事項を確認すること) **記載内容の変更**

罫線追記

(応募書類 その1)

資格等	取得年月	資格等の名称
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
校内外の諸活動 ※	追記	
	追記	
志望の動機	追記	
備考		

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により令和6年度改定)

○従来の統一用紙（履歴書）

履歴書

令和 年 月 日現在

写真をはる位置
(30×40mm)

ふりがな		性別
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(満 歳)	
ふりがな	〒	
現住所		
ふりがな	〒	
連絡先		

削除

「在籍校」欄と「職歴」欄に分離

(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)

「在籍校」欄と「職歴」欄に分離

学歴・職歴	平成 年 月	高等学校入学
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	

(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない) **記載内容の変更**

(応募書類) 統一用紙の更新

(応募書類 その1)

資格等	取得年月	資格等の名称
趣味・特技	校内外の諸活動	削除
志望の動機		
備考		

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により平成17年度改定)

○新たな職業相談票 (乙)

1 学校名 中学校 (郵便番号) 年 月 日 生 (満 歳)

2 氏名 3 性別 4 生年 月 日 5 現住所 (郵便番号) 年 月 日 生 (満 歳)

6 学業成績 (郵便番号) 年 月 日 生 (満 歳)

学年	欠席日数	主な理由	特記事項
1			
2			
3			

7 出席状況

8 特別活動

9 特別な教科進修

10 特別の教科進修

11 身体状況

12 本人の将来を営ずるものに○印を付けるものとする。

項目	状況
基本的な生活習慣	
健康・体力向上	
自主・自律	
責任感	
創意工夫	
本人の将来を営ずるものに○印を付けるものとする。	

13 本人の長所 推薦事由等

年 月 日 中学校長

(所在地) (郵便番号) (電話番号)

※安定所記載欄

受付番号

公共職業安定所

○従来の職業相談票 (乙)

1 学校名 中学校 (郵便番号) 年 月 日 生 (満 歳)

2 氏名 3 性別 4 生年 月 日 5 現住所 (郵便番号) 年 月 日 生 (満 歳)

6 学業成績 (郵便番号) 年 月 日 生 (満 歳)

学年	欠席日数	主な理由	特記事項
1			
2			
3			

7 出席状況

8 特別活動

9 特別な教科進修

10 特別の教科進修

11 身体状況

12 本人の将来を営ずるものに○印を付けるものとする。

項目	状況
基本的な生活習慣	
健康・体力向上	
自主・自律	
責任感	
創意工夫	
本人の将来を営ずるものに○印を付けるものとする。	

13 本人の長所 推薦事由等

年 月 日 中学校長

(所在地) (郵便番号) (電話番号)

※安定所記載欄

受付番号

公共職業安定所

	従来の注意事項	新たな注意事項
履歴書	<p>1 「連絡先」欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること。</p> <p>2 「学歴・職歴」欄には、いわゆるアルバイトは記入しないこと。</p> <p>3 「校内外の諸活動」欄には、部活動、ボランティア活動、インターンシップなど、校内外での活動状況で記入したい事項がある場合に記入すること。</p> <p>4 「備考」欄には、「資格等」、「趣味・特技」、「校内外での諸活動」、「志望の動機」以外で記入したい事項がある場合に記入すること。</p>	<p>1 「連絡先」欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること。</p> <p>2 「在籍校」欄は、卒業見込み、あるいは卒業した高等学校名を記入すること。 高等学校卒業見込み・高等学校卒業の別の該当事項を○で囲むこと。</p> <p>3 「職歴」欄には、いわゆるアルバイトは記入しないこと。</p> <p>4 「校内外の諸活動」欄には、部活動、ボランティア活動、インターンシップなど、校内外の活動状況で記入したい事項がある場合に記入すること。</p> <p>5 「志望の動機・アピールポイント等」欄には、志望の動機、自己PR、特技等を記入すること。</p> <p>6 「備考」欄には、「資格等」、「校内外の諸活動」、「志望の動機・アピールポイント等」以外で記入したい事項がある場合に記入すること。</p>
調査書	<p>1 基本方針 高等学校生徒指導要録等に基づいて作成するものとする。</p> <p>2 「課程名」欄については、全日制・定時制・通信制の課程別、「在学期間」欄については、入学・編入学・転入学（編入学及び転入学の場合はその学年を記入）の別及び卒業事項をそれぞれ○で囲むこと。</p> <p>3 「学習の記録」欄は、高等学校在学中の全学年について、次のように記入すること。 (1) 「教科・科目」欄は、高等学校生徒指導要録に基づいて教科・科目名を記入すること。 (2) 「評定」欄は、5、4、3、2、1の5段階で記入すること。また、卒業見込みの者で、最終学年の成績が未決定である場合は、直近における成績を総合して、最終学年の成績とすること。なお、高等学校卒業程度認定試験などを、高等学校の各教科・科目の単位を修得したものとみなした場合、「評定」欄に「高等学校卒業程度認定試験等」と記入すること。 (3) 「総合的な探究(学習)」欄は、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。なお、「総合的な探究(学習)の時間」の全てを「課題研究」等の履修によって代替したことにより、「総合的な探究(学習)の時間」を履修していない生徒については、当該欄に斜線を引くこと。 (4) 「留学」欄は、留学した生徒の外国の学校における学習の成果をもとに、校長が修得を認定した単位数を記入すること。 (5) 留学の下空欄には、学校教育法施行規則第140条の規定に基づき、通級による指導を行い、単位認定を行った場合には、「自立活動」と記入し、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。また、同規則第80条の2の規定に基づき特別の教育課程による日本語指導を行い、単位認定を行った場合には、「日本語指導」と記入し、各学年において修得した単位数を記入すること。</p> <p>4 「本人のアピールポイント・推薦事由等」欄は、生徒の個性を多面的にとらえ、生徒の長所を取り上げることを基本として記入すること。</p> <p>5 「特別活動の記録」欄は、特別活動における生徒の活動状況について主な事実及び特別活動全体を通して見られる生徒の長所など所見を記入すること。</p> <p>6 「出席状況」欄は、高等学校生徒指導要録該当欄の記載事項を転記するものとするが、卒業見込みの者の最終学年の欄は、直近の学期末現在における欠席の状況を記入すること。</p> <p>7 「特記事項」欄は、以下について該当がある場合に記入すること。 (1) 体学の期間がある場合 (2) 長期欠席中の学校以外の場における学習状況などを把握している場合 (3) 職業の特性等において必要な要件として、身体状況(視力及び聴力など)及び配慮事項の記載が求められる場合 8 押印は不要とする。</p>	<p>1 基本方針 高等学校生徒指導要録等に基づいて作成するものとする。</p> <p>2 「課程名」欄については、全日制・定時制・通信制の課程別、「在学期間」欄については、入学・編入学・転入学（編入学及び転入学の場合はその学年を記入）の別及び卒業・卒業見込みの別の該当事項をそれぞれ○で囲むこと。</p> <p>3 「学習の記録」欄は、高等学校在学中の全学年について、次のように記入すること。 (1) 「教科・科目」欄は、高等学校生徒指導要録に基づいて教科・科目名を記入すること。 (2) 「評定」欄は、5、4、3、2、1の5段階で記入すること。また、卒業見込みの者で、最終学年の成績が未決定である場合は、直近における成績を総合して、最終学年の成績とすること。なお、大学入学資格検定合格科目などを、高等学校の各教科・科目の単位を修得したものとみなした場合、「評定」欄に「大検等」と記入すること。 (3) 「総合的な学習」欄は、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。 (4) 「留学」欄は、留学した生徒の外国の学校における学習の成果をもとに、校長が修得を認定した単位数を記入すること。</p> <p>5 「出席状況」欄は、高等学校生徒指導要録該当欄の記載事項を転記するものとするが、卒業見込みの者の最終学年の欄は、直近の学期末現在における欠席の状況を記入すること。</p> <p>6 「身体状況」欄は、次のように記入すること。 (1) 「身長」、「体重」、「聴力」及び「視力」欄には、それぞれについて高等学校等用生徒健康診断票の、最も新しい記載事項を転記すること。 (2) 「視力」欄は、眼鏡等を使用していない者については、裸眼視力を()の左側に記入し、また、眼鏡等を使用している者については、矯正視力を()内に記入し、裸眼視力は横線を引くこと。なお、視力1.0以上を「A」、1.0未満0.7以上を「B」、0.7未満0.3以上を「C」、0.3未満を「D」として記入して差し支えないこと。 (3) 「備考」欄は、高等学校等用生徒健康診断票の記載事項で、特に、必要と認められる事項があれば記入すること。</p> <p>7 「本人の長所・推薦事由等」欄は、生徒の個性を多面的にとらえ、生徒の長所を取り上げることを基本として記入すること。</p>

履 歴 書

令和 年 月 日現在

写真を貼る位置

(30×40mm)

ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)
ふりがな	〒
現住所	
ふりがな	〒
連絡先※	

在籍校※	令和 年 月	高等学校卒業見込み 高等学校卒業
------	--------	---------------------

職 歴 ※	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	

資格等	取得年月	資格等の名称
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
資格等		
校内外の諸活動※		
志望の動機・アピールポイント等※		
備考		

調 査 書

参考1
(応募書類 その2)

ふりがな														
氏名														
昭和・平成	年	月	日	性	別									
学校名	平成 令和				入学 年 月	(第 学年) 編入学・転入学								
課程名	平成 令和				在学期間	卒業・卒業見込								
全・定・通					学 科 名	科								
学 習 の 記 録														
教科 科目	評 定				教科 科目	評 定								
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年					

本人のアピールポイント・推薦事由等	
-------------------	--

特別活動の記録

出席状況	1年	2年	3年	4年	特記事項
欠席日数 欠席の 主な理由					

記載者

上記の記載事項に強いのないことを証明します。

令和 年 月 日
(所在地) 〒
(学校名)
(電話番号)
(校長名)

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校校長協会の協議により令和6年度改定)

1 学校名

応募書類
((中)職業相談票 [乙])

写真貼付

ふりがな
2 氏名

3 性別

4 生年月日
年 月 日
(満 歳)

5 現住所
ふりがな
(郵便番号 -)

6 学業成績	必修教科名	3 学年	選択教科名	3 学年	7 出席状況	学年	欠席日数	主な理由	特記事項					
	国語									1				
	社会									2				
	数学									3				
	音楽		8 特別活動			9 総合的な学習の時間		10 特別の教科 道徳						
	美術													
	保健体育													
	技術・家庭													
	外国語													
	段階評価													

11 行動の記録	項目	行動の状況	項目	行動の状況	12 本人のアピールポイント・推薦事由等	
	基本的な生活習慣		思いやり・協力			
	健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護			
	自主・自律		勤労・奉仕			
	責任感		公正・公平			
創意工夫		公共心・公德心				
本人の特長を示すものに○印を付けるものとする。						

年 月 日

中学校長

(所在地)

(郵便番号)

(電話番号)

※安定所記載欄

受付番号

記入上の注意事項

I 履歴書

- 1 「連絡先」欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること。
- 2 「在籍校」欄は、卒業見込み、あるいは卒業した高等学校名を記入すること。高等学校卒業見込み・高等学校卒業の別の該当事項を○で囲むこと。
- 3 「職歴」欄には、いわゆるアルバイトは記入しないこと。
- 4 「校内外の諸活動」欄には、部活動、ボランティア活動、インターンシップなど、校内外の活動状況で記入したい事項がある場合に記入すること。
- 5 「志望の動機・アピールポイント等」欄には、志望の動機、自己PR、特技等を記入すること。
- 6 「備考」欄には、「資格等」、「校内外の諸活動」、「志望の動機・アピールポイント等」以外で記入したい事項がある場合に記入すること。

II 調査書

1 基本方針

高等学校生徒指導要録等に基づいて作成するものとする。

- 2 「課程名」欄については、全日制・定時制・通信制の課程別、「在学期間」欄については、入学・編入学・転入学（編入学及び転入学の場合はその学年を記入）の別及び卒業・卒業見込みの別の該当事項をそれぞれ○で囲むこと。
- 3 「学習の記録」欄は、高等学校在学中の全学年について、次のように記入すること。
 - (1) 「教科・科目」欄は、高等学校生徒指導要録に基づいて教科・科目名を記入すること。
 - (2) 「評定」欄は、5、4、3、2、1の5段階で記入すること。また、卒業見込みの者で、最終学年の成績が未決定である場合は、直近における成績を総合して、最終学年の成績とすること。なお、高等学校卒業程度認定

試験などを、高等学校の各教科・科目の単位を修得したものとみなした場合は、「評定」欄に「高等学校卒業程度認定試験等」と記入すること。

(3) 「総合的な探究(学習)」欄は、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。なお、「総合的な探究(学習)の時間」の全てを「課題研究」等の履修によって代替したことにより、「総合的な探究(学習)の時間」を履修していない生徒については、当該欄に斜線を引くこと。

(4) 「留学」欄は、留学した生徒の外国の学校における学習の成果をもとに、校長が修得を認定した単位数を記入すること。

(5) 留学の下の空欄には、学校教育法施行規則第 140 条の規定に基づき、通級による指導を行い、単位認定を行った場合には、「自立活動」と記入し、各学年において修得を認定した単位数を記入すること。

また、同規則第 86 条の 2 の規定に基づき特別の教育課程による日本語指導を行い、単位認定を行った場合には、「日本語指導」と記入し、各学年において修得した単位数を記入すること。

4 「本人のアピールポイント・推薦事由等」欄は、生徒の個性を多面的にとらえ、生徒の長所を取り上げることを基本として記入すること。

5 「特別活動の記録」欄は、特別活動における生徒の活動状況について主な事実及び特別活動全体を通して見られる生徒の長所など所見を記入すること。

6 「出席状況」欄は、高等学校生徒指導要録該当欄の記載事項を転記するものとするが、卒業見込みの者の最終学年の欄は、直近の学期末現在における欠席の状況を記入すること。

7 「特記事項」欄は、以下について該当がある場合に記入すること。

(1) 休学の期間がある場合

(2) 長期欠席中の学校以外の場における学習状況などを把握している場合

(3) 職業の特性等において必要な要件として、身体状況(視力及び聴力など)及び配慮事項の記載が求められる場合

8 押印は不要とする。

